

新規事業採択時評価結果(平成18年度新規事業化箇所)

事業の概要

事業名	放射第7号線	事業区分	街路	事業主体	東京都
起終点	自:練馬区大泉学園町二丁目 至:練馬区西大泉五丁目			延長	2.0km
事業概要					
<p>本事業は、千代田区九段北一丁目を起点として、練馬区西大泉五丁目に至る全長約19kmの都市計画道路のうち、練馬区大泉学園町二丁目から練馬区西大泉五丁目までの延長2.0kmについて、幅員25mの道路を新設するものである。</p>					
事業の目的、必要性					
<p>本路線は、区部と多摩地域を結ぶ4つの主要な東西道路の1路線であり、区部北西部地域の道路ネットワークを形成し、当該地域の慢性的な交通渋滞を解消するとともに、生活道路に進入する通過交通を排除する。また、本区間が完成することにより、多摩地域から、関越道・外環道の大泉インターチェンジへのアクセスが飛躍的に向上する。本路線は、第三次事業化計画で優先的に整備すべき路線に選定されている。</p>					
全体事業費	214 億円	計画交通量	18,000 台/日		
事業概要図					

関係する地方公共団体等の意見

本区間は、地元からの整備促進要望とともに、都議会においても事業化に向けたスケジュールが多数質問されるなど早期整備が望まれている。

事業採択の前提条件

- ・便益が費用を上回っている。
- ・円滑な事業執行の環境が整っている。

事業評価結果

担当課: _____
担当課長名: _____

費用対便益	B/C	2.61	総費用: 168.1 億円 事業費: 159.3 億円 維持管理費: 8.8 億円	総便益: 439.3 億円 走行時間短縮便益: 423 億円 走行費用減少便益: 15 億円 交通事故減少便益: 1.3 億円	基準年: 平成15年	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C= (交通量 %)	B/C= (交通量 %)	B/C= (交通量 %)	
		事業費変動	B/C= (交通量 %)	B/C= (交通量 %)	B/C= (交通量 %)	
		事業期間変動	B/C= (交通量 %)	B/C= (交通量 %)	B/C= (交通量 %)	
事業の影響	評価項目	評価	根拠			
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策		【渋滞損失時間の改善】 【1kmあたり(台kmあたり)渋滞損失時間】 【渋滞度曲線】 【その他の特徴】		
		事故対策		【死傷事故率】 (死傷事故率比(県内平均比)) (事故率曲線における位置:) 【その他の特徴】		
	社会全体への影響	歩行空間				
		住民生活				
		地域経済				
		災害				
環境						
地域社会						
事業実施環境						

採択の理由
